



身の医療の「核」と「縁」～原点への回帰～

開催日時：2024年3月17日（日）

開催形式：リアルタイム・オンライン配信（Zoom Meeting）

大会長：菅村玄二（関西大学文学部）

コンセプト

今年度のテーマである「原点」とは、すなわち本会が「〈身〉の医療」の「研究会」であることです。わざわざ改めてこれを確認する意味は2つあります。

1. 〈身〉とは何かを問い直す

〈身〉とは、生物・精神・社会・霊的（bio-psycho-social-spiritual）なレベルにまたがる重層的なホリスティックな概念と言われます。では、その中核的なテーマとはいったい何なのでしょう？あるいは、逆にその周辺的なテーマはどこまで拡がり、そこにはどのようなトピックやクエスチョンが含まれるのでしょうか？〈身〉の医療の「核」を足場にしながら、その「縁」を探りつつ行きつ戻りつしたいと思っております。

2. 「交流」を行う

オープニングレクチャーの特別講師のほか、本研究会の中心メンバーのそれぞれの先生方に「いま最も関心のあるトピック」について簡単にプレゼンをしていただき、役員の先生や参加者の方々と交流を深める時間を取りたいと思っております。

プログラム

●開会挨拶● (9:00～9:05)

●基調講演● (9:05～9:55)

「エナクティブ認知科学から見た〈身〉と〈心〉」

中村嘉男先生 (ユタ大学医学部)

ユタ大学の「心身相関探究センター」や「疼痛研究センター」で、心理学の観点から長年研究され、マインドフルネスの普及に貢献した Mind & Life Institute にも深く関わってこられました。精神と身体の両面の働きについて、また日本とアメリカの双方の文化について、深い造詣をお持ちでいらっしゃいます。今回は、エナクティブ認知科学の観点から「身と心」についてご講演いただきます。

●メタ・シンポジウム「身の核心と周辺を探る」●

- 「メタ」(meta-)には、「間」や「超越」の意味があります。セッション内の演者間はもちろん、その他の演者やフロア間の交流を意図すると同時に、〈身〉を俯瞰的に捉えるという企画の趣旨をこの言葉に込めました。
- 各演者の先生がお考えの〈身〉の「中心テーマ」、あるいはどこまでも離れて〈身〉に含まれるか含まれないのかもさっぱりわからないような「周辺テーマ」について10分程度でお話しいただきます。
- 短い時間ですが、あえて「言葉足らず」にすることで残る余韻も「間」の1つで、今回のメタ・シンポジウムの趣旨の1つと考えております。
- 会全体としては、このトークによって生み出される〈身〉の医療の「核」と「縁」を行きつ戻りつするという、“edging process”の中から、各自の気づきやアイデアが創発するような場を作れたら、と考えております。

午前 第1部 (10:00～11:00)

1. 「〈身〉からみた身体症状の意味 -三段階の気づき-」
深尾篤嗣先生 (茨木市保健医療センター・所長)
2. 「身との関係性 -マインドフルネスの視点から-」
山本和美先生 (医療法人京都翔医会西京都病院心療内科・臨床心理士/公認心理師,
関西医科大学心療内科学講座・研究員)
3. 「腹診で考える、五臓と気血水理論の心身相関」
奥見裕邦先生 (医方会奥見診療所・院長, 大阪総合医学教育研究会附属 親と子の診療所・医師)

午前 第2部 (11:05～12:05)

4. 「病気の治療&予防から個&公の健康へ! 健幸美楽®メソッド」
渡邊勝之先生 (いのちアカデミー合同会社【LFC】・代表) ※事前録音
5. 「無意識的なテストとしての心理療法セッション」
藤井康子先生 (平井クリニック・非常勤医師, 大阪大学人間科学研究科博士前期課程・大学院生)
6. 「〈身〉=SOMA based な学問的枠組みに関する私観」
久保隆司先生 (日本ソマティック心理学協会・会長, 早稲田大学文学学術院・非常勤講師)

午後 第1部 (13:00～14:15)

7. 「フォーカシングの原点とこれから」

池見 陽 先生 (関西大学人間健康学部・教授, 同大学院心理学研究科・教授) ※事前録画

8. 「慢性疼痛専門が発達障害専門になってしまった!？」

町田英世先生 (まちだクリニック・院長)

9. 「身に触れるケアの可能性 —タッチケア・セルフタッチング・エサレン®ボディワークの視点から—」

中川れい子先生 (NPO 法人タッチケア支援センター・理事長,
エサレン®ボディワーク認定プラクティショナー)

10. 「なんだか怪しいOリングテストとその周辺」 西田慎二先生 (にしだクリニック・院長)

午後 第2部 (14:20～15:35)

11. 「有機体-環境相互作用としての一人称のからだ」

村川治彦先生 (関西大学人間健康学部・教授, 同大学院人間健康学研究科・教授) ※事前録画

12. 「アトピー治療の脱ステロイドと脱保湿における身心魂の統合」

鎌田 穰 先生 (身心魂の統合と癒しの空間スプリア・代表)

13. 「“自分自身”と“今、ここ、この一瞬”」

北村翰男先生 (奈良漢方治療研究所・所長)

14. 「非思惟の実践の場としての身体」

菅村玄二 (関西大学文学部・教授, 同大学院心理学研究科・教授)

午後 第3部 (15:40～16:00)

- 演者全員とフロアを含めたディスカッション

参加申込

<参加資格>

- ◇ ご関心のある方はどなたでもご参加いただけます。
- ◇ 初めての方も大歓迎いたします。

<参加費>

- ◇ 一般：4,800 円
- ◇ 学生：2,400 円
 - 大学院、大学、専門学校、高校など各種学校に在席している学生の方は、学生証の写し（画像）を事前にメール送付していただくことで、年齢を問わず学割チケットでお申し込みいただけます（当方からの返信を待たず、学割でお申し込みいただいても構いません）。
 - 送付先：embody.event@outlook.jp

<申込方法>

- ◇ Peatix より参加申込と支払いを済ませると、Zoom ミーティングの URL が書かれたページが閲覧できます。
- ◇ イベント URL はこちら <https://minoiryu-9.peatix.com>



<キャンセル・ポリシー>

- 本会はボランティアによって運営されていますので、事務的負担の観点から、Peatix サービス利用規約に基づき、参加者都合によるキャンセルは不可とさせていただきます。

<参加にあたっての注意点>

- Zoom 上では、表示名を「氏名（所属）」としてください。
- ネット回線やご家庭やお仕事の事情により、カメラは常時 ON でなくても構いませんが、ご質問をされる場合はできるだけカメラ ON にしてください。
- 現時点ではオンデマンド配信は予定しておりませんが、記録のため録画することを検討しています（録画しない可能性も高いです）。
- 録画状態が良ければ、参加者の方のプライバシーに配慮した編集をしたうえで、基調講演やメタ・シンポジウムの一部について、後日、有料でオンデマンド配信をする可能性も 0 ではない点をご了承いただき、ご参加ください。